昭和二十五年（1950）定價一ヶ月五十圓 一部賣二圓 磐城毎日新聞 六月二十二日（木曜日）第27号 （日刊）

磐城毎日

發行所 福島縣平市南町六六（平局區內）
株式會社 磐城毎日新聞社
編集兼印刷發行人 遠藤孝倫
電話（平）一二一〇番

海に・山に
初夏の美は
清爽な服裝から
ドライクリーニング
ナガヤマ
平市大町5
TEL 606番

# 市民を迷はす水道問題

## 事情と契約を知り

## 解決の策は速急に

平水道の水不足は全市民不滿の聲であり、一日も早くこれが解決を要望することも一般市民の聲である、此處に於て市民の聲を反映さすべく市當局に其の事情の根本原因を探究した處が巷間二三の者が攻撃する爲めの宣傳なることを發見して驚いたのである、即ち平水は道大正四年九月四日好間川の流水を取入れることに出發してゐるのである

### 契約書の內容

當時の平町長伊坂員正氏と好間村長で且つ好間せき普通水利組合代表者で管理者たる川島至善氏とが契約を結んだもので兩者共町村會の決議を經たことは勿論である、その內容は平町に於て上水道を敷設する爲め好間川より一秒時間に一、三立方尺の水量を引用することが協定されて初めて着工し其の代償金も年々納め來つたのである

### 其後の契約變更

大正十五年七月十五日平町長伏見彦衛氏と好間村長であり水利組合代表者である金成淺治氏が前契約を改めて二、六立方尺に水量引用を協定したことは平の發展態勢からで、昭和七年中に擴張工事が施工され當時の平としては人口四万を目標としたらしいのである、以上が現在までの契約の概略で取入水量六個などとは奇想天外の迷契約で何人が町や村を代表して結んだのか攻撃せんが爲めの攻撃とはこんな種明かしてまよわされる市民こそ初めてわかることであらう

### 今後の契約に難点

若し平市が好間村に向つて三度の改約を交渉するとすれば今度は好間村だけでは話が出來ない事情が生じてゐるのである、是れは現在に於て好間川流水を湯本町內郷町、常磐炭礦及好間村自体も使用してゐるので是等の同意を得なければ相談にもならずそれにしても前記の關係者が異口同音に水不足を訴えてゐる實情からも成立しない事は明白であらう

### 水量增加は大工事

六個の水を取入れることが仮りに出來るには現在市財政では話になるまい、それには大せき堤を築ぞうし大貯水池を設けることであるが、之れには廣大なる耕地の潰廢を用し且つ人家等の移轉など實に巨額の費用を要するばかりか、折衝に年月を用することであらうこれが例を現在さわがれてゐる奥會津の電源開發問題に外資導入さい論議される情態なのに人口五万足らすの平市は國家事業としての援助などあらう筈はあるまい、此處に自力で早急に水道工事の必要が起きる所以であらう

### 文化都市使用水量

都市の文化向上と水量使用高は比例して增大するので市の現在設備では水量に余力なく取入鐵管の如きは再契約の二個六分の設計になつてゐるものである、以上を總合して市は手近の方法として夏井川本流平橋下流水利權の問題化されぬ處より鎌田山に引用して工費二千万圓を投じ市內を二分して水勢をつけ多量を放水することを急ぐとのことである、然し此の施工後はさまで給水料に大なる影響をせないと云ふ

---

## 社說

### 接客業者の服裝

愈々夏の頃となつて來た食物の腐敗し易い時候なのであるし、種々の有害な菌が猛威をふるう時なのである、接客業者所謂食物の製造販賣をなす者の衛生的施設や取扱いについては充分留意して傳染病の豫防に一役を買つてもらはねばならない、各々營業者や設備の上に於て取締りの機關はあることであらう、然し設備は勿論のことであるが、それよりも其の業務に從事する人々の衛生的常識を備えることが何より大切なことである

料理人は比較的清潔で衛生的觀念を持つてゐる、食肉販賣業者なども概して衛生的な感じを客に與えてゐるが場末の飲食店の接客業者に付てはまことに感心出來ないものがある

接客業者の服裝品に於ては高級なものがあるやうである、然し頭のテツペンから凝視するならば非衛生的な不潔さが目に付てならないものがある、特殊な存在は例外として普通の飲食店では服裝の華美を必要としない、どこまでも質素で清潔な爽快さを保つことが第一條件でなくてはならない、一杯の清涼飲物も輕い食事を求めるのに美人の愛嬌は寧ろ有るより無い方がよいのであらう、端麗で清楚な使用人に運ばれることは衛生的であり、家族連れでも心を許して遊興も食事も出來る安心さがあるから吾々の希望として派手な服裝などはこの次として汚れのない割烹衣に異態の知れぬ何の手心を加えぬ頭髮だけは白布で守つていたゞき度いものである

それは獨り衛生的な面ばかりではない、客が安易な氣持ちで清楚な食事や喫茶に、住宅難から充たされない住の不滿を限られた瞬時でものんびりとしたい憩の家にしたいからである

---

# 密造酒ルート追及

## 料飲店の取消も考慮

昨年五月酒類の公定酒格改訂に當り燒ちゆうのみが大幅に値下げとなつたのは結局その狙いが密造酒の驅逐にあつたからである、地方農村で今迄消極的に密造して居た時代と違つて都市に進出して以來、本格的に工業化し、その弊害が激增し税務官吏と警察官との共同檢擧は絶えず行はれて居るが未だにメチール中毒死が續出し密造酒橫行が漸く社會問題化して最近の密造酒製造及び飲食を強力に防壓する爲國税廳では間税部長全國會議を東京に招集し次の如き方針を定めて早速實行することゝなつた

一、取締の對象は密造者だけでなく酒のブローカ、小賣業者、飲料店、露店商に迄擴大する

二、取締の單位は從來税務署單位であつたが數税務署連合で取締る事も考慮する

三、取締方法は從來內容主義であつたが今後は各店頭一せい檢査を行ふのみならず帳簿の徹底的究明も斷行し密造ルートの追及をも圖る

四、その他小賣業者、料飲店の水混和等の不正違反行爲も取締り場合によつては營業許可取り消しと云う方針で不正酒の撲滅を期すると同時に税收入の增加を計る爲め強硬な手段に訴えることになつた

---

# 水道に就て市長談

平市の水道は御承知の通り大正十年に給水を開始してその後昭和七年に至つて擴張工事をいたしました、その內容は給水人口四万人を目標として一人當りの給水量一日最大一二〇リツトルの基本で取水量を毎秒二、六立方尺に增大し今日に至つて居るのでありますが、然るにその後十七ケ年を經過した現在に於ては戶數に於て約千七百戶も增加した外各種の工場、會社、官衙及學校等新設されて之れ等はいづれも大量の水を使用するものであつて、工揚用水のみでも總合水量の約三分の一を占めて居る現狀であります以上申述べた樣に好間川からの取すい量は十七ケ年この方一定でありますが、この反面消費する水量は年々增大して來て居るので水を多量に使用する夏期には自然水不足を來して市民の皆樣に御迷惑をかけることになるのであります、この根本對策は既得權の毎秒二、六立方尺を完全に利用することと更に水源を擴張する外方法は無いのでありまして今回市會の議決を經て別に水源の擴張計畫を致しました、今回の擴張計畫は從來の取水量毎秒二、六立方尺の外に更に毎秒二立方尺を取水するものであつて合計四、六立方尺となるのであります、尚今回の計畫では一人一日の使用量を最大一八〇リツトルに增大して計畫給水人口は六万人の目標になつて居ります

---

# 改正所得税の申告

## 七月末まで

申告所得税の內農業以外の一般納税者の豫定申告と第一期納税は使年六月末日を期限として居たが本年に限り一ケ月迄延期され七月末日と決定した、それは今回の所得税の極めて廣い範圍にわたつて改正された爲納税者がこれを理解してその意味を徹底的に認識する必要があると考えられた爲である、農業關係の豫定申告と第一期納税は例年通り七月末日が期限である

---

# 初秋蠶の技術

## 協議會を開く

來る二十四日午前十一時より地方事務所蠶絲課では秋蠶種對策技術會を開き蠶種增掃對策について

桑葉改獲方の改善

桑園の病虫害の騒除、豫防について

等の協議會を開くことになつた

---

# 人生旅日記

(17)

## 立派な經歷をもつ

## 平市土木課長大塚衞氏

今勝手な文句を付けられてゐる平水道に其の責任主班役を勤めてゐる土木課長大塚衞氏とはどんな人物かと四万市民は知りたいのであらう

生れは相馬中村町に藩公の流を吸んだ二本差の武家、相馬中學から仙台の高工に土木を修め卒業するや直ちに內務省の土木關係に人生旅日記の第一步を踏み出して十五年間の勤續、此處で磨いて立派な技術官となつて地方出をしたのである

それから富山縣廳に五年山形縣廳に三年六ケ月、熊本縣廳では河港課長を二年、千葉縣廳に水道技師長として四年間を勸めて二十三年正月に平市に來たのである、全くの技術屋で研究と信念とには他の追從を許さぬものがあり市としては技術方面の至寶でもある

氏は水道でも土木でも營々として研究し設備の改善に充實に倦むところを知らない勉強振りであるが、

### 今後のあなたは

政治理念に欠けてゐる處から說明する時など本街道の技術面のみで話すので掛引せぬ眞正直さに損をすることが折々あると云ふ

今度の好間川取入口の調査、鎌田山への取水工事の設計など涙ぐましい努力には知る人をして尊敬の念を起さしめてゐる

---

# 人事ニユース

東北配電平營業所長大內善藏氏は本日平方部電力確保打合せのため福島に出張二十五日歸平の豫定
△平土木監督所長上村圭一氏は本日勞働省へ
△佐藤平職安所長は本日陳情のため勞働省へ
△平税務署長小貫數馬氏は全國基準税務署長會議に出席の爲二十三日仙台へ出張二十五日は東京會議へ出席二十八日歸廳の豫定

---

# 寶冊録

**出生** △五日平市大字中窪字勝見澤上妻久翁氏長女靜さん△十日平市才槌小路櫻井半吾氏長女惠子さん△十一日平市大字鯨岡字田中山、山內守氏長女早苗さん△十七日平市田町鐵道官舍內馬上七郎氏六男協さん

**婚姻** △十三日石城郡高久村猪狩光さんと平市久保町會川よし子さん

---

# 若き聲

昨廿日午前十時より赤井第一小學校にて少年團帽子に依る「青葉若葉會」が結成された、これは縣內らしく郡內では大野村の次に出來たもので小學校五年以上の小中學校生が私達の村を良くしませうと自發的なもので、驛前の田中、反町、諸荷の三部落の兒童達に依るものである、參加者は小中生六年の人でレクリエイション並に會長選出を行ひ今後の活どうについて協議した

---

# 俳句會詠草

電配

去る十七日文化部俳句班では班員の句會を催した、今後例月句會を開催して班員の親睦を計ると共に句作に精進する事になつた

小松 里草

金魚のひれ靜かに動き向き變はる
梅雨晴の空やまぶしく蝶よぎる
梅雨とは思はれぬ程流れ急
夏帽を脱ぐや松らいあるばかり
一匹の金魚のいのち樂しめる

大內 無帽子

釣金魚ぢつと見つむる病兒の瞳
仔を連れし馬も煙りぬ牧の梅雨
藻に遊ぶ金魚舞妓の振見せて

波汐 國芳

泣いてゐるあなたの瞳に金魚がゐます
金魚金魚光りを吐きて晝閑か
夏帽に光りあつめて晝たけなわ

佳田 統

梅雨晴れの田の面鏡の如く照り
キヤンデーやの鐘忙がしく梅雨晴れて
なが雨の晴れて目につく夏帽子

增子 好一

また今日も梅雨に暮れたり鑛山の町
弟を見送る驛も梅雨なりし

鯨岡 將夫

梅雨の街立ちし看板色あせて
子と散歩夜店の金魚ねだはれて

國井 金一郎

金魚鉢にたわむれゐたる小猫かな
にわか雨帽子おさえてかけにけり

松田 葉生

眠るかに鉢の金魚のひそみをり
夏帽を振つて故郷の驛を發つ
梅雨晴やビルの高窓陽を返す

パンと洋菓子
ベーカリ 東京堂
平市才槌小路
電話1108番

平藝妓屋組合
組合長代理 鈴木武雄

仲屋 電話一五二番
橋屋 電話一〇二番
湖月 電話二四五番
久もと 電話二〇九番
吉野屋 電話二六〇番
三島屋 電話二二一番
山形屋 電話一二七番
開花 電話二五〇番
喜代乃屋 電話二一六番
壽々乃屋 電話五九三番
福清 電話四三三番
ますみや 電話一一九番
福藤 電話一八五番
金もと 電話二六三番

アサヒ地下足袋
三馬ゴム靴
代理店
大 横山商店
平市三丁目電話94番

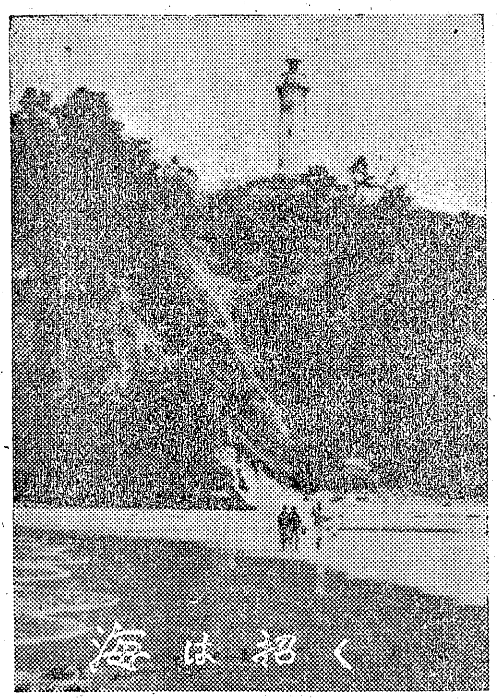
秋田杉平割造作材
製材木銘木材
色川材木店
平市才槌小路一
電話三四一番

# 海水浴着店頭賑う
## 今年は流行もぐつと落つく

市内某商店には早くもセパレート、シングル、ダブルなど赤、青、黄、黒と色とりどりの海水着が陳列された買物に入つたお孃さんたちの足をとめてゐる、今年は流行型もぐつと落着き、一昨年、昨年などの胸部と腰部をおほうだけの官能的なものは全然見られない、値段は水着(大人もの)二千円前後とあつては一寸手が出ないが、お小遣いを貯めてとさゝやき合つてゐる計畫性をもつたお孃さんもゐるなど娘さんが海のニユールックに持つ憧憬は仲々押さえ難い賣れ行きは梅雨がすつかりあがらないうちは無理で先物買えの娘さんがぽつぽつ買う位で、普通の娘さんは買わないまでも胸をふくらませて歸る人が多い、婦人用水着千四百円から二千四百円、子供用百六十円から六百円位、男子用海水パンツ八百円から百円まで

### うちわ屋當り
### 表具師あがつたり

夏と共に登場するものに海水着や浴衣があるし、麥藁帽子に扇子と云つた季節の品も市内に氾濫する本年のうちわ相場は一本七円から八円が普通で、宣傳用の註文ものは十二、三円で需用季に入つて各商店は註文に應じ切れない忙しさう、平市内販賣業者は五、六軒あるが製造業者は一軒で何れも東京、大阪、名古屋の製造元に取次ぎそれでは間に合ぬとあつて上京し膝詰註文と云う嬉しい悲鳴である扇子は普通四十円、七十円どころが麥藁帽子は三十円六十円、これと云う嶄新なものはない夏の實用品としてゐるだけに相場も品も動かない入荷は多い、夏の季節物で客を呼ぶ商賣にこれは何と夏枯の憂目を見るのは薪炭商ばかりでないもの悲嘆の運命にあるものは表具屋さんで、障子やふすまは納屋へと取はずされるし、書畫骨とう品はコッピトク不影氣風に叩き付けられて改裝も新裝も註文はなし八月頃には紙の統制も解けるのでその秋を樂しみにと熱い風呂に入つた氣持で待つてゐますとは表具師さんの言葉である



# 税金を飲ますな
## 酒造税輕減運動國會に

一般物價が下廻つてゐる殊に主食が公定價を割つてゐるのに酒類の價格だけは依然として下らない、酒類販賣業者も目下の處酒を賣るのではなく、税金を賣つてゐる假に特級酒一升一千百七十五円の課税額は九百八十二円となつてゐる、これでは税務所が密ぞうしゆの檢擧をやつても濁酒は次から次と市内にはんらんするその品質も免許しゆをりようがするものあり、釀ぞう業者や販賣業者も漸く脅威を感じるに至つて取締り當局と協力密ぞう酒ぼくめつに躍起となつてゐるが、之等を完全にく除して販賣を見出すのには課ぜいの輕減より途なしと全國釀造業者と販賣業者は來る七月の臨時國會に税金値下げの運動を開始することになつた

### 國調に備えて
### 統計係大會開く

縣下統計大會は十月の國勢調査に備えて各市町村專任統計係を集めて來る二十七日福大で協議會を行ふ、此の日はこれまでの業績に對し感謝狀、表彰狀もそれぞれ贈られることになつて居り、なほ總理府統計局長森田雄藏氏の國勢調査に就ての講演がある、平からは鈴木統計主任、神谷、飯野支所の統計係が出席することになつてゐる

### 第三回炭礦對抗
### テニス大會

平石炭局炭礦体育連盟主催第三回炭礦對抗テニス大會は二十四日午前八時から平商高で開催する、昨年の優勝チームは好間で試合方式は團体はリーグ戰、個人はトーナメントにより優勝チームには石炭局、炭礦体育連盟からカツプが贈られる常磐炭礦三チーム、好間炭礦四チーム、日曹赤井一チーム、茨城炭礦二チームの十チームが參加する

### 經營者懇談會

平勞政事務所各事業經營者又勞務擔當者の懇談會を昨二十一日石炭會館で約四十名が參加、現在各事業場に於て直面してゐる勞資相互の問題勞働協約等に付き懇談した

### ラジオ二臺
### 貨物ホームで消ゆ

磐城通運株式會社では二十日夜半平驛西側貨物線ホームに荷下した五球スーパーラジオ二箇時價一万五千円相當を監視の隙に何者かに竊取された

### 搔拂に判決

秋田縣雄勝郡駒形村八面字清水田三八土工近野賢吉(三二)にかゝる竊盜公判は二十日平簡裁で懲役十ヶ月、執行猶豫三年の判決があつた、近野は去る四月三十日湯本町字湯本八一山中善一方から自轉車一台を搔拂いその足で四倉町本町八一長谷川勇方から靴一足同町仲町三五小林タカから人絹ポプリント三十ヤール同町五十六岡崎清吉方から鐵びんと一回に四件竊盜を働いたもの

# 居直り强盜志賀
## 營林署荒らし余罪判明

十四日午前一時頃水產事務所に押入り即日强盜未遂容疑で平市署に捕つた、仙台市鹽屋下前科二犯志賀大八(三三)はその後取調べにより去る五月二十五日双葉郡浪江營林署からタイガー計算器二台時價五万円、テーブル掛三枚六千円相當、折鞄一箇千円相當、現金千百円計五万八千万円相當を搔拂い八日には同郡富岡營林署からタイガー計算器一台五万五百円相當を竊取し盜品は皆仙台東京方面へ賣却した事を自供した

### 少年殺し檢證
### 判檢事一行出張

地檢平支部松本檢事地裁平支部志郎裁判長猪狩、棚村判事の一行は二十一日山田村餘木田街道で鈴木平重外二名にかゝる盆踊り歸途の少年殺し事件の現場檢證を行つた

### 娘二人組脱走
### 自殺一歩前保護

東京都北多摩郡松江村所在愛光女子學園に收容中の本籍千葉縣君津郡大鷹村字新田一三六前野道子(一六)同東京都北多摩郡武藏野市西窪四六七齋藤芳江(一七)の兩名は十八日午後二時頃看守の隙を窮つて脱走し上野驛から常磐線下り列車に無賃乘車十九日午後七時三十二分湯本驛に下車したが朝から食事も攝らず所持金もないため兩名が自殺しようとした處を擧動不審で湯本町署に保護され、二十一日愛光女子學園に無事引取られた

### 驛前フミさん
### 强制立退き

昨二十一日平驛前高橋フミさん家主大橋秀冬氏の家屋が平戰災復興事務所から强制立退きを受けて早朝から引越しを始めた、突然の命令に面喰つた借家人のフミさん覺悟はしてゐましたが毀されるまで頑張つてゐる考はなかつた、敷地その他のことで家主と折合がつかずこんなことには深い事情があると云つて朝の早くから引越しに立働いてゐる

# 小麥粉特配一般へ
## 驛構内でうどん立喰ひも

平市では市民の食生活の一層の便を計ると共に未だ後を斷たない主食のヤミ取引の防止することを主張として此の六月から主要食量の業務用配給を實施することになつた、配給對象は△社會事業を目的とする給食施設(厚生食堂)△勞務加配を受けない勤勞者、學生、生徒を對照とする會社、官廳、學校等に附屬する給食施設△飲食營業者△鐵道構内又は車内に於て旅客に食事を提供し販賣する者となつてゐる、尚配給申請其の他は市役所で取りあつかふが六月分は本二十二日、七月分は二十八日まで申請することゝなつてゐる、この配給實施によつて鐵道でわ構内にもウドンやそばの販賣など開店されるものでこれは旅行者にも喜ばれるものであらう

### 縊首

内郷町字高坂常磐炭礦住吉坑軌道夫田坂忠治(四四)は二十一日午後三時頃自宅の天井梁で縊首を遂げた、原因は生活苦らしい

# 魚菜相場

### 【鮮魚市況】

—二十一日現在—
(單位貫)

| | |
|---|---|
| かつを | 三二〇—二六〇円 |
| すずき | 三〇〇—二五〇円 |
| あじ | 一二〇— 九〇円 |
| いか | 一五〇—一三〇円 |
| 小だい | 五八〇—五〇〇円 |

### 【青果市況】

—(マルサ市場)—

| | |
|---|---|
| きやべつ | 二六—一五円 |
| きうり | 九〇—八五円 |
| なた豆 | 二〇〇—一五〇円 |
| さやえんどう | 一二〇—八〇円 |
| 玉ねぎ | 四五—三五円 |
| 馬鈴薯 | 四〇—三〇円 |
| 櫻桃 | 二五〇—一八〇円 |
| 桃(小川産) | 三二〇—一五〇円 |
| 南瓜(茨城産) | 八五—五〇円 |
| なす一箇 | 七円 |

好間今仁井田産

### 株式市況
### (磐城證券)

—二十一日現在—

紡績株が朝から買われつれて値高物其の他も全面高に久し振りに明るい市況であつた、特に西からの買は注目を引いた

| | | | |
|---|---|---|---|
| 鋼管 | 三三 | 呉羽化 | 五〇 |
| 東洋紡 | 一五六 | 苫小牧 | 一四七 |
| 鐘紡 | 一二五 | 十條紙 | 一五七 |
| 日清紡 | 三五〇 | 本州紙 | 一六〇 |
| 呉羽紡 | 八四 | 日セメ | 五五 |
| 日東紡 | 七〇 | 磐城セ | 一六八 |
| 片倉 | 四〇・五 | 小野田 | 一〇五 |
| 帝人 | 一〇五 | 不動新 | 一二六 |
| 東洋レ | 八七 | 陽和不 | 三〇 |
| 新光レ | 一四〇 | 開東不 | 三六 |
| 山パル | 一六三 | 三越 | 四〇八 |
| 東海上 | 五四五 | 日麥酒 | 四四〇 |
| 新郵船 | 一〇三 | 朝麥酒 | 四三五 |
| 三井船 | 九六 | キリン | 五〇〇 |
| 日發 | 三三 | 寶酒造 | 一四三 |
| 三井山 | 四三五 | 野田醬 | 三六〇 |
| 日石 | 六〇 | 豐年油 | 一三一 |
| 三井造 | 六〇 | 高壓 | 五〇 |
| 日立 | 四四 | 日産化 | 四四 |

## 窓

米價が下つてどぶろくが安くなる、だから酒類の消費が減少して酒税のたい納者が出て來る理由最近酒税物品税等の間接税について脱税がばく大な額にのぼり特に無免許者の暗躍甚しきものがあり、密ぞう者及無免許者を取締つて十万円以下一年以下のけい罰を公布して居る爲、それ等惡質脱税者の檢擧と眞面目な商人をよう護する爲今迄の樣な税收主義を捨てゝ嚴罰主義の取締方針をたて税Cメンともいふべき間税審査官制度を新設して國税廳に三十名、全國國税局に四百名を配置して第一線間税官吏を指導監督すると共に直接納税者についての調査檢査を實施取締檢擧を强行する事となつたさて密ぞうしゆはかげを消すかどうか

# 官衙學校職員錄
(其十四)

### 福島縣平土木監督所

所長 福島縣技師 上村圭一
主任主事 渡邊義朝
主事 澤田壽一
建築主事 佐藤信好
主任技師 船橋信夫
技 大森信夫
高橋利雄
阿久津忠治
大塚治郎
有田慶喜
落合亀喜
鈴木五郎
堀川常則
猪狩利雄
建築技師 馬目龍勇
雇 郡周二
佐藤武美
箱崎勝昌
鈴木喜一
吉田猪之助
白石昭秀
黒田信之
佐藤昭
新妻幹夫
運轉手 上野周六
鈴木正幸
助手 吉田秋夫
(兼) 伊藤清之
(兼) 草野政良
鈴木寛
阿部貞子
菊田つね
渡邊里
小野亥

### 水産事務所
### 水産製品檢査所

所長(兼) 松井晃
次長 (缺員)
事務吏員 岩並三郎
(兼) 齋藤寛
技術吏員 星正二
(兼) 越坂松男

水産製品檢査所小名濱支所
技術吏員 主任 瀧内貞
松澤貞之助
松原清次郎
松崎敦

同江名支所
技術吏員 主任 武藤福美
鈴木一雄
片寄甚太郎
粒來義貞
高木弘之

同四倉支所
技術吏員 主任 大島直雄
田村守
坂本利平

水産試驗場
場長 安達新
教官(兼) 遠藤文也
事務吏員 近藤道之助
技術吏員 霜島良弼
古川正一
瀧内貞
飯塚貞美
鈴木傳壽
藤田喜一
松本卓司
千葉賢二
八代守正
馬上貫
山野亘
武澤三雄

寫眞藝術へ
精進!!
平四・本局前
金太郎寫眞部

平市古鍛冶町九二
平地區商業協同組合
電話 八〇四番 六四九番

増築記念大賣出し
百圓以上一割引
靴と運動具
良い品 大安賣
大塚
平驛三十米通り
電話七七番

金・銀・寶石
書画・骨董
和服・洋服
高價買入
平市南町公會堂通り
(錦湯通り)
中央會館
電話九一五番

20日より25日
靴みがき
内郷 第二いわき